

こんにちは。

長谷弘工業さんとお互いに協力しあいながらオーディオ周辺部材を開発している川上です。色々ご愛顧を頂き、また貴重なご意見も賜りながら、今後もより効果的な商品開発に勤しみたいと思っています。

さて 昨年から企画開発中のテラミスシリーズがほぼ完成致しましたのでご報告いたします。

○ その前に自己紹介を

私の名前は川上。環境関連会社を経営する中で、世に埋もれたオンリーワン資材の用途開発に携わっています。

その取り扱い資材の中で、

「SSC 塗料」は成分がストラテバリのバイオリン塗料の成分と良く似ている事からスピーカー用塗料として作り替えました。

「繊維系資材（繊維シートやウエーブシート）」は叔父の縫製業を手伝っていた事からの繋がり、音響製品に使える企画を考案。

「ヒダスキ」はオーディオ仲間 兼 備前焼窯元が製作。

「エムモクテラミス」は環境関連の仕事の延長線からの特別に入手していますが、著名なオーディオ設計者から「オーディオ素材として最高」との評価を得て商品化に至りました。一方 私は楽器が好きで、学生時代は毎日 音楽に明け暮れていました。自分の音作りとあちこちの演奏会への参加で、自らを鍛えていましたが、社会人になる前にスパッと止め、その代替がオーディオになってしまいました。演奏会の雰囲気そのまま自宅に持ち帰りたかっただけなのですが。

そのために自分なりに努力しました。真空管アンプを作っては分解し、針に懲り、スピーカーに悩み、オーディオ月刊誌を読みあさっていました。通信機器メーカーやオーディオ専門家とも激論を交わしました。最初の勤務先が秋葉原だったためオーディオショールームを徘徊し、我が装置との差違をチェックし、改造したり、買い換えを繰り返しました。

当時を思い起こす装置は何もありませんが、今でも CD,DVD デッキ8台、アンプ9台、スピーカー5セットで、繊維シートやテラミスの音質チェックに活躍しています。

最近 凝っているのが昔のスピーカーの改造です。

ヤマハ、JBL、オンキョウ等を10セット程 手掛けています。

費用は工賃別途で5000円～10000円程度ですが、改造音質は新品オリジナルの音を遙かに凌駕します。もしそこにスピーカー用テラミスを使用すれば、過去のオーディオライフが何だったんだろうか！！とショックを受けられるだろうと想像します。

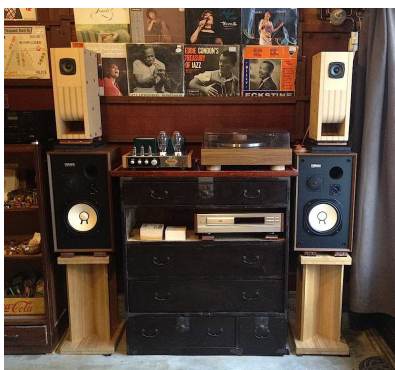
勇気を持って、所有スピーカーを再チューニングしてみてください。その効果にびっくり仰天は受け合いです。

ちなみに ヤマハNS-471チューニング済みスピーカーは富山のレコード店で試聴できます。テラミスシリーズも一緒に使われています。

長谷弘工業から貸与されたMM141Sも試聴できます。

来客の皆様の驚きは大変なものです。

写真はグリーレコード店（富山市室町1-3-22）本業は歌手。オーディオは初心者。是非ご指導下さい。



○ テラミスシリーズの紹介

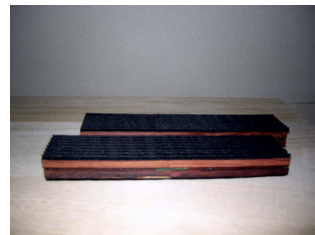
### 【 デッキ専用テラミス 】

現在の仕様は最終バージョンです。

誰もが「デッキの下に敷くだけで音が変わる訳が無い。」と言われます。

私の音楽仲間ですら、聞く耳無しでした。

ところが実際に試聴を始めた途端に無口になり、次から次に CD を変えながら喰り出す。



挙句の果てには、このまま置いて帰れと言う。

駄目だと言って、持ち帰る際に外した状態で試聴すると、あまりの音質の低下に怒り出す始末。結局 持ち帰ることができませんでした。

この例は 既に3人の友人宅で経験しています。

全員の言い分は「きっちりモニターをするから暫く借りたい。」と言いながら、2～3日過ぎに「使ってやるから売ってくれ。」で全員購入。

その内の一人から、「スピーカーの片 CH に敷いたら音質が一気にアップした。驚いた。」

と早くもスピーカー用を作れとの催促。

長谷弘工業のお客様も、富山のレコード店のお客様も、同様の評価をして頂いているようで、嬉しく思っています。

**次の様な質問**も有りました。

最高級デッキでも効果が有りますか？

- ・ 私の回答は「分かりません。」です。私の体験は DCD-S10 レベルまでですので、それ以上のデッキに使用することは想定外です。

重量の有るデッキでは効果が有りますか？

- ・ 重いデッキはそれなりの音質維持製品です。長谷弘工業は貸し出しをしますので、試聴にご利用下さい。DCD-S10 (14Kg) では音質効果は顕著でした。

デッキの底ボデーに取り付ける場合と底の足に付ける場合とでは音質が変わりますか？

- ・ 各自の好き嫌いによります。テラミスの高さは約25mmです。足に取り付けるとデッキがより高くなります。安定性を考えるとボデーに取り付ける方が良いのではないかと思っています。

アイポットの下に敷いても効果が上がりますか？

- ・ 私の友人がトライをしました。効果が有るようです。

アンプに使用すれば効果が上がりますか？

- ・ 理論的には効果が有ります。但し デッキやスピーカー程では有りません。

**製品仕様**

- ・ サイズ 30cm x 6.5cm x 3cm 2個セットです。天然木を使用していますので、若干の差異が出ます。ご了解下さい。
- ・ 重量 940g～950gです。
- ・ 材質 天然木製 黒シートはナイロン製

**その他**

- ・ テラミスに乗せる素材（テラミスの下に敷く素材）が重要です。ガラス、金属、石材等の硬質素材よりも、木材の方が良いと思います。開発者自身はスチールボードの上に桐板を敷き、その上にテラミスを置いています。

### 【 スピーカー専用テラミス 】

前述の著名なオーディオ設計者は体調不良で仕事ができない状態ですが、「エムモクをスピーカーBOXの部材として使いたい。」とのアイデアを持っておられます。

既にスピーカー試作品は製作済みです。しかし、かなり高価になりますので販売の予定は決まっています。

試聴要請が有れば

長谷弘工業または富山市内にあるレコード店に持ち込みます。

このアイデアの延長線上にスピーカー用インシュレーターとして別商品の発売を計画されていきました。それが今回の製品です。



## 製品概要

- 写真のように「デッキ専用テラミス」とほぼ同様な形状ですが、上板にはウエーブシートは有りません。(写真は下側が上に向けられています。即ち上下が反対になっています)
- 小型スピーカーには片チャンネル 2 個敷きます。大型には片側 3 個または 4 個を敷きます。
- スピーカーによっては微調整をしたくなりますが、自らチャレンジしてベター ~ ベストを作り出して下さい。これがオーディオのおもしろさ、楽しさです。必要な場合はアドバイスします。
- テラミスシリーズはデッキ専用、スピーカー専用となっていますが、デッキをスピーカーにスピーカーをデッキに使用することは可能です。アンプやチューナーや BL デッキにも使用可能です。
- エムモクとエムモクの間にも小さく切ったウエーブシートが入っています。クッション性が有ります。クッション性が重量物を乗せることで失う可能性があります音質の変化は有りません。念のために 30Kg のスピーカーをテラミス 2 個で支えてテスト中です。(ブックシェルフ型スピーカーの最重量を 60Kg とし、それを 4 個で支える事を想定してテストをしています。)
- 据え置き型スピーカーは対象外です。

## 製品仕様

- サイズ 15cm x 6.5cm x 3.3cm 4 個セットです。
- 1 個あたりの重量は約 210g、4 個セットで 840g です。天然木ですので、若干の差異が有ります。

## 使用効果

- 兎に角 設置して下さい。聴けば分かります。
- 取り外せば、音質的には滝から落ちるが如くの落差を感じられると思います。本当にショックを受けます。  
私の音楽仲間は CD 専用テラミス 以上にショックを受けていました。  
但し 持ち上げる事も出来ないような大型ブックセルフ SP では試聴をしていません。90% 以上は 30Kg 以下のスピーカーですので、超大型は対象外と思っています。理論的には全ブックシェルフタイプの音質改善に大きな貢献をします。NS-1000 クラスは 30Kg 以上ですが、設置すれば、想定外の悩みを味わって頂けます。オーディオマニアは取って置きの悩みになりますよ。
- 長谷弘工業でも富山レコード店でも、スピーカー用テラミスはスピーカーの一部である。取り外して音楽を聴くことは考えられないと断言しています。
- 試聴貸し出しを利用して自慢のオーディオに設置してみてください。

## その他

- より効果的なセッティング方法が有ります。ここでは記しません。
- 我こそオーディオマニアの方、是非長谷弘工業又はレコード店に投稿をお願い致します。
- 100名の投稿次第で締め切り、開発者より新品 P-610 セットとオーディオ設計者の簡単なアドバイスを差し上げます。但し 1 セットだけです。
- 5 名には、次期開発予定商品 プロトタイプをモニター用として差し上げます。

今回の案内は NS-10M あの有名なテンモニを使った試聴報告です。